

「私たちにできることを」

福井仏婦が交代でボランティア

県南相馬市の勝縁寺や相馬市の光善寺に届けた。

「被災地に行って、センターを拠点に、宮城県の七ヶ浜町や名取市で瓦礫がれきや泥の撤去、区仏教婦人会連盟（佐々木鈴枝委員長）は教

活動に参加した藤田能子さんは「何もかも津波でなくし、『請求書であっても、自分宛てに届くことがうれし

区内の仏婦会員に呼びかけ、6月から8月にかけて毎月1回、宮城県や福島県の被災地を訪ね、支援活動を行った。

8月の活動では、仮設住宅へ移る人が多くなってきたことから仏婦で話し合い、米3きとしょうゆ、塩、味噌、野菜など生活用品を箱

い」というお話を聞き、現地に行って初めてわかったことが多かった。頻繁に行くことはできないが、私たちにできることを少しずつ

仙台別院にある東北教区災害ボランティア

に詰め合わせた100セットを持参し、福島

い」と話していた。